

鳥取中央有線放送株式会社 御中

発信元	琴浦町
担当課	総務課
担当者	課長補佐 藤田淳也
連絡先	0858-52-2111
令和6年8月6日(火)	

「職員のアイデアで『まちの課題』を解決！」

- 職員の政策企画力・政策遂行力向上を目的に、政策コンテストを開催
- 発表アイデアの「発表テーマ」等概要が決定！

趣旨 琴浦町では、職員の政策企画力・政策遂行能力の向上を目指して、令和5年度～6年度にかけて「政策力アップ！職員アイデア研修」と題した職員研修を実施しています。これは、「職員研修＋政策コンテスト＋高評価企画の事業化」を行うもので、総務省「地域力創造アドバイザー」を招へいして実施している事業です。

このたび、8月9日(金)に開催する「政策コンテスト」の職員アイデア発表のテーマ等が決まりましたので、お知らせします。

政策コンテストについて

○趣旨

政策力アップ！職員アイデア研修の取組の一環として、地域力創造アドバイザーの支援を受け、職員の実感に基づく企画提案を評価する「政策コンテスト」を開催します。コンテスト評価結果に基づき、高評価者の表彰を行うと共に、高評価提案について事業化を推進する事により、職員の積極性に基づいた政策企画力や政策遂行力の向上を図り、琴浦町が本来持つ地域の魅力・価値のさらなる引き出しと向上を推進します。

○日時 令和6年8月9日(金) 午前10時～

○会場 琴浦町役場本庁舎 2階防災会議室

○日程

10:00～10:10	開会行事
10:10～12:10	アイデア発表8組(発表10分質問5分/グループ)
12:10～13:00	休憩
13:00～15:00	アイデア発表8組(発表10分質問5分/グループ)
15:00～16:00	集計・審査
16:00～16:30	結果発表・表彰・感想

○発表アイデアの「発表テーマ」「内容概要」等 別添のとおり。

※16組、のべ46名の職員が参加

【参考】

研修全体のスケジュール概要

令和6年1～2月 政策企画研修実施 参加者62名

(内容：DX、システムデザインマネジメント、
ナッジ、EBPM)

5月10日 政策コンテスト説明会

(13:30～、15:00～の2回開催。コンテスト概要等説明。

会場：琴浦町役場本庁舎防災会議室)

6月24・25日 地域力創造アドバイザーによる参加者面談

8月9日 政策コンテスト開催 (会場：琴浦町役場本庁舎防災会議室)

9月以降 コンテスト高評価企画の事業化推進

(事業化まで継続して大山アドバイザーがサポート)

アドバイザー 大山詠司 (おおやま えいじ) 氏

総務省地域力創造アドバイザー

青山社中株式会社 取締役

※プロフィールは別添チラシのとおり。

担当・問合せ 琴浦町役場総務課行政総務室 (担当) 藤田、井中

電話 0858-52-2111

○8月9日(金)政策コンテストアイデア発表「発表テーマ」「グループメンバー」「発表内容概要」「想定される関係課」一覧(午前)

※会場：本庁舎防災会議室。各グループの発表は、発表10分・質疑応答5分計15分を予定

番号	発表テーマ	発表内容の概要	グループのメンバー	想定される関係課	発表開始時間
1	もう迷わない！探さない！知りたい事務手続きにスムーズにたどり着く仕組みづくり	初めての手続でもスムーズに着手でき、アップデートされた正しい情報を時間をかけずに確認できる。業務効率化に係る「作業着手までの時間の削減」にフォーカスをあて、職員がストレスなく、正しい事務に着手できる仕組みづくりを目指す。	総務課 主査 井谷 真由美 総務課 主任 佐々木 幸恵 総務課 主事 山平 優加	総務課	10:10
2	ノーコードツール導入によるExcel台帳からの脱却	多くのエクセル台帳をノーコードツールに置き換えることにより、業務の効率化を図る	総務課 主事 岩里 卓 総務課 主任 永代 研一 総務課 主事 村木 健人	総務課、すこやか健康課、福祉あんしん課、税務課、農林水産課、建設住宅課、子育て応援課	10:25
3	契約保証金の電子化	建設工事における契約保証金の納付手続きを電子化することにより、業務の効率化を図る。	総務課 主任 會澤 直之	総務課、建設住宅課、上下水道課、農林水産課、社会教育課、教育総務課、商工観光課、出納室	10:40
4	多胎・多子世帯でも安心 琴浦町子育て応援事業	全国的に問題となっている少子化問題解決のため、「琴浦町ファミリーサポート事業」を中心に行政目線・町民目線両方から課題を解決し、子育て中の家庭が2人目・3人目を出産しても安心して子育てできる町を目指す。	すこやか健康課 主事 村上 彩 総務課 主事 谷田 千香子 福祉あんしん課 主事 福本 桃子	子育て応援課	10:55
5	Liquidを活用した職員提案の仕組みづくり	業務改善を始め、職員が活発に意見交換できる仕組みを作ること、風通しの良い職員にとって魅力ある職場づくりを目指す。	企画政策課 係長 浜川 明 企画政策課 係長 河上 和誠 企画政策課 係長 丸本 陽一	企画政策課	11:10
6	惑星コトウラ「グローバル化構想」	移住人口が急激な勢いで増加する琴浦町。その中でも、外国の方の割合は非常に高く、文化の違いを要因とするトラブルが増加している。課の垣根を超えた“本構想”により、地元住民とのトラブル減少、自治会活動やまちづくりに積極的参画する仕組みを創出する。	すこやか健康課 主任 足立 建 町民生活課 主事 辻中 友樹 企画政策課 主事 西村 蓮 税務課 主事 山根 祐貴	企画政策課、町民生活課、社会教育課、商工観光課	11:25
7	琴浦町習い事応援事業「コトナラ」	教育業界の働き方改革が進むこれからの時代、習い事は子どもの個性や才能を伸ばす主戦場へ。”させたくてもさせられない”習い事を町がクーポン交付で経済的に直接支援し、教育格差の是正と子育て世代の移住定住促進を目指します。	税務課 主事 小倉 綾介 税務課 主事 上山 裕太 税務課 主事 西脇 桃子	社会教育課	11:40
8	ドライブスルー申請	全国初の試み！！ イメージはマクドナルド。 高齢者や小さい子どもを連れた方が車を駐車し、必要な窓口に行くのは一苦労という町民の声を元に発案。カジュアルな役場を目指す。	すこやか健康課 主査 中井 圭子 子育て応援課 主査 吉田 啓 子育て応援課 主事 西村 ころこ 子育て応援課 主事 林原 美晴	総務課 すこやか健康課 福祉あんしん課 税務課 企画政策課	11:55

○8月9日(金)政策コンテストアイデア発表「発表テーマ」「グループメンバー」「発表内容概要」「想定される関係課」一覧(午後)

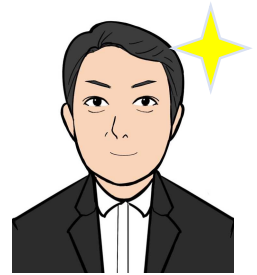
※会場：本庁舎防災会議室。各グループの発表は、発表10分・質疑応答5分計15分を予定

番号	発表テーマ	発表内容の概要	グループのメンバー	想定される関係課	発表開始時間
9	食からつながる地域の輪	独居高齢者や高齢者世帯が増え、買い物や調理に困っていると いった相談が増えてきている。赤碕エリアは見守りや安否確認を兼 ねた高齢者向けの配食サービスができていますが、東伯エリアにはな い。そこで、地域資源を活用し食をとおして人と人が繋がり、誰で も安心して暮らせる地域を目指す。	すこやか健康課 課長補佐 圓山 千嘉子 すこやか健康課 主査 中井 圭子 すこやか健康課 主任保健師 太田 典子 すこやか健康課 主任栄養士 黒木 裕子	すこやか健康課 企画政策課 商工観光課	13:00
10	スポーツ振興応援事業	スポ少の団員・団数減少、外遊びやスポーツに触れる機会の減少 に伴い、肥満児や運動音痴児童の増加、中学校の運動部選択者 の減少、教員の働き方改革による部活離れ問題、指導者不足等、 各種課題の解決と同時に、子ども達が体を動かす喜びを感じる機 会を増やし、子ども達の心身の健全な育成を支援する。	すこやか健康課 主任保健師 松本 満耶	社会教育課、教育総 務課、子育て応援課、 総務課	13:15
11	“アートの力で”雨の日も賑わう町プロジェクト	なんとなく落ち込んでしまいがちな雨の日…。屋外はあきらめて、 イオンなどの大型ショッピングセンターへ行きがち。 そんな観光の弱点である天候を逆手にとり、“アートの力”で雨の日 も賑わう町を目指します！	農林水産課 主任 西本 賢司 農林水産課 主任 中原 悠次郎 農林水産課 主事 黒田 朝絵 農林水産課 主事 小田井 隆輔	企画政策課、商工観 光課	13:30
12	工事業務の一元化	入札以上の工事や設計業務を 特定部署に集約させることで、ミスと時間的ロスのリスクの軽減を図 る	商工観光課 主任 松田 大介 商工観光課 主任 高力 圭将	総務課	13:45
13	ため池廃止及び遊び場設置事業	水利利用者が無く、地元から廃止の要望もある犬加美堤(イカミツミ @琴浦町役場本庁舎の東側)を廃止し、空いた土地にスケートボー ド、フットサル等の遊び場、駐車場及び休憩所を設置する。	建設住宅課 係長 濱崎 豊弘 建設住宅課 主任 岩本 雄 建設住宅課 技師 野口原 伸成 建設住宅課 主事 大本 瑞希	農林水産課 総務課	14:00
14	下水道事業の経営改善 浄化センター遊休地の活用	東伯と赤碕浄化センターの遊休地で太陽光発電を行い、電気代を 削減することで経営改善を図る	上下水道課 主事 入江 佳吾	総務課、町民生活 課、農林水産課、建 設住宅課、上下水道 課、社会教育課	14:15
15	オフィス改革 ～事務環境平準化～	庁舎ごとに異なる事務環境を平準化し、職員の負担軽減につなげ る。	社会教育課 係長 山根 麻衣子 教育総務課 主事 大本 昌義	総務課 社会教育課	14:30
16	談話コーナーリノベーション ～魅力あるまなタンにするために～	・談話コーナーをリノベーションして、おしゃれな家具や調理スペ ースを置き、利用したくなるようなスペースにする。 ・魅力あるキッズコーナーを作り、子どもを見守りながら本やカフェで ほっとでき、ゆとりある時間を過ごせる空間作り。 ・チャレンジショップに場の提供(売上げの一部を改修費に充当) ・「出張カフェ」琴浦特別支援学校のカフェを定期的に開催(徒歩圏 内に飲食店なし) ・館内で一日過ごせ、世代を越えた利用者の交流の場所とする。	人権・同和教育課 主査 田栗 恵子 社会教育課 係長 増田 裕子 社会教育課 主任 下村 嘉輝 社会教育課 司書 坂口 佳美	社会教育課 子育て応援課	14:45

あなたの発想で町の課題を解決できる！

政策力アップ！職員アイデア研修

～参加者募集のお知らせ～



【副町長メッセージ】

この研修では専門家の支援を受けながら、政策企画に必要な最新の技術を学んだり、アイデアを実際の政策に具体化する方法を実体験することができます。

職員の皆さんが、日常業務の中で、又は住民として感じる「もっとこうだったら良いのに」という思いや、日々の実務で感じる矛盾やジレンマを政策のタネとして、新しい手法や技術を駆使して解決、改善して行きたいと思います。就業環境の改善、事業効果の拡大につながると思いますので、研修を受けるのはちょっとしんどいと思いますが、挑戦をお願いします。

【研修全体の流れ】この研修は、2ヶ年度に渡って座学への参加と、政策コンテストへの参加で進めていきます！

ステップ①座学・WSで学ぶ！ (R6年1～2月)	ステップ②みんなで企画！政策コンテストに参加！ (参加単位取りまとめ：R6年4月、コンテスト：R6年8月)
企画力向上・政策効率化に必要なDXをはじめとした要素を座学・ワークショップで学びます。企画のアイデアが溢れる魅力的な講座です。	研修受講者の皆さんに、政策コンテストに参加していただきます。(コンテストのテーマは「まちの課題解決」。参加は個人でも、2～4名のグループ単位でもOKです！〔参加取りまとめはR6年4月に実施〕。企画のアイデアを具体化する過程では、専門家(裏面参照)のアドバイスを受けて、高レベルの企画政策化を実体験できます。コンテストのプレゼンで高評価を受けた企画はR7年度に事業化します！あなたのアイデアが形になる瞬間です！

【ステップ①の内容紹介】座学・ワークショップの内容です(日付は令和6年。会場は本庁舎防災会議室)

講座名	開催日時	内容	講師
DXマインド	①1月16日(火) 15:00～16:00 ②1月17日(水) 10:00～11:00	DXについて「本当に大切なこと」が一体何なのか？ワークショップを通じて学びます。身近な人の持つ素敵なアイデアは確実に政策化のヒントになります！	サイバーエージェント かすやまさお 粕谷昌男さん
システムデザイン マネジメント・仮説思考	1月31日(水) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00	人・組織をシステムとしてデザインする思考がシステムデザインマネジメントです。仮説を立て、課題・アイデアを発見し、政策を創る方法について学びます。	青山社中 おおやまえいじ 大山詠司さん
ナッジ	2月14日(水) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00	人の性質に配慮して、より良い選択を促すことを「ナッジ」といいます。より少ない財政コストで社会的により良い選択を促すことができ、施策効率化を劇的に高めることができます。	
EBPM	2月28日(水) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00	EBPMは「証拠に基づく政策立案」。政策目的を具体化し、政策の効果を具体的に測る方法を学ぶことで、合理的根拠(エビデンス)に基づく政策企画を行うことができます。	

①・②・③のいずれも同じ内容を実施します。参加しやすい時間帯を選択してください。

【参加申込】申込締切：令和5年12月22日(金)

○各所属で取りまとめの上、指定フォルダにある参加申込用エクセルにご記入ください。

(原則全ての講座及び政策コンテストに参加していただきます。講座は参加時間帯を選択してください)

○問合せは、総務課行政総務室をお願いします。

【研修全体の流れ図】

項目	R 5年度					R 6年度							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ステップ①座学・ワークショップで学ぶ（研修） ・DXマインド ・EBPM ・ナッジ ・システムデザインマネジメント・仮説思考		参加者募集		研修実施									
ステップ②政策コンテストに参加！（個人でも2～4名のグループ単位でも参加可能です） ・コンテストテーマは「 まちの課題解決 」 ・企画のアイデアの具体化に専門家の伴走支援が受けられます！（高レベルの企画政策化を体験） ・政策コンテストで具体化した企画をみんなでプレゼン。コンテスト高評価企画はR7年度に事業化します！					コンテスト参加者募集		専門家による企画伴走支援 ※個人・グループで企画	政策コンテスト		コンテスト高評価企画の政策化（伴走支援） ※担当課で事業化			

※原則全ての参加者が①・②の両方に参加します。

【専門家（研修講師）紹介】



粕谷昌男(かすやまさお)氏
株式会社サイバーエージェント
AI事業本部 GovTech開発センター

SI企業を経て、2003年サイバーエージェント入社。グループ内情報システム担当として企画提案から運用まで幅広く担当。ヘルプデスクや社内広報等の統括として活動しつつ、プロジェクトマネージャーとして各種プロジェクトを推進。行政におけるDXの支援に取り組んでいる。



大山詠司(おおやま えいじ)氏
青山社中 株式会社 取締役
総務省地域力創造アドバイザー

東武鉄道で観光誘客や東京スカイツリータウン・駅ナカ等の商業施設開発を担当。2011年にまちづくりのNPO法人を設立。2013年からは、本格的に自治体の事業伴走をメインとした地域活性事業に従事する。現在、総務省地域力創造アドバイザーとして、全国各地で地域インフラの活性化・民間活力活用政策を中心に活動している。